

nouvelle Fontaine

発行日 2021年1月25日

発行 岸和田文化事業協会

〒596-0073 岸和田市岸城町5-10

岸和田市立自泉会館内

TEL/FAX 072-437-3801

Email: fontaine@sensyu.ne.jp

http://www2.sensyu.ne.jp/fontaine/

自泉アーティストバンク

～芸術家の育つ場所～

新しき年の初めの初春の

今日降る雪のいやしけ吉事

万葉集 大伴家持

(新春の今日降り積む雪のように良きことの数
多ありますように)

あけましておめでとうございます。今年ほど
この歌が身にしみる年明けはなかったかもしれ
ません。初めて体験する世界に戸惑う1年が過
ぎました。岸和田文化事業協会でも事業の中
止・延期が続き、再開後もどのような形で行う
かを模索する日々です。今年はどうか、たくさ
んの文化芸術に触れられる年でありますように。

あらゆる人がコロナ禍で影響を受けました。
どんなケースにも胸は痛みますが、若い人た
ちへの思いはひと
しおです。

私たち岸和田文
化事業協会は若手
の芸術家の発掘と
育成を目標のひと
つにしており、その
取り組みとしてコン
サートを開催して

います。自泉ジュニアコンサートと自泉フレッ
シュコンサートです。ジュニアコンサートは小
学生から高校生まで、フレッシュコンサートは
音楽を学びプロフェッショナルとして歩み始め
る新人演奏家が対象です。音楽を志す芽を見つ
け、発表の場を準備し、成長の手助けをすること。
ふたつのコンサートを相互に結びつけ、子
どもから成人へと続く道を作ることを意図して
います。

実際、素晴らしい若い才能が自泉会館のホー
ルから生まれています。お稽古事として始めた

楽器や歌。努力して続けてきたものが花開き、
人々に拍手で迎えられる様子は、何度見ても心
が弾むものです。

ただ、ご存じのように芸術家として身を立て
ていくのは並大抵ではありません。ひとつでも
多く舞台に立ち、演奏する。その経験は彼ら彼
女らにとって、チャンスをつかむ機会になるは
ずです。ならばそこにも目を向ける必要があると、
私たちは考えました。ジュニア・フレッシュとつ
ないできたプログラムの最終段階として、巣立
つ前の発表の場を提供するのはどうだろうか？

こうしてできたのが自泉アーティストバンク
です。フレッシュコンサートに出演した演奏家
の皆さんが登録しており、当協会の事業への参

加や、演奏者を探
している方々への
紹介などを目的と
しています。いま
までに、いくつかの
コンサートやピア
ノ伴奏で力を貸し
てもらいました。
コンサートでは、



〔第12回フレッシュプレミアムコンサートより〕

個人あるいはグループでテーマを設け、ステー
ジの構成を考えていくという課題を経験してい
るメンバーもいます。演奏だけでなく自己プロ
デュース力も磨き、ファンを増やして、さらに
大きなステージへのステップにしてほしい。そ
れが私たちの願いなのです。

現在は音楽家を中心ですが、いつかは様々な
ジャンルの芸術家が参加してくれたら。自泉会
館が若い芸術家の生まれる泉となれば。そんな
大きな夢を抱いて、新しい年の第一歩を踏み出
したいと思います。
(文責：小末)

「なにわ時計学校」 ～古きよきものを大切に～

なにわ時計学校 学校長 池宮俊二氏 に伺いました



紀州街道と塔原線が交わる角あたり。「なにわ時計学校」「なにわ時計研究会事務所」と書かれた看板を気にしながら横目で通り過ぎている方、いらっしゃいませんか？

今回はその「なにわ時計学校」の学校長、池宮さんを訪ねました。

ドアのチャイムをピンポーンと鳴らすと、笑顔の優しい池宮さんがお迎えしてくださいました。ちょうど10時。大きな柱時計が素敵な音色を鳴らし、その奥にたくさんのアンティークな柱時計や置時計が鎮座しています。時計学校に似つかわしい校内で、いろいろなお話を伺いました。

池宮さんは御年71才。大正5年創業の池宮時計店（創業当時は時計に加え蓄音機やレコードも扱っていたそうです）を守りながら、約35年、時計組合の職業訓練校講師を務めてこられました。時計師を職業としたのは、家業を継ぐはずのお兄さんが時計店を止めると言われたからだそうです。

高校卒業後、交野の時計学校に入学。24歳の時、国家試験2級に合格。25歳で最難関の日本時計師会CMW試験に1回でトップ合格。お父様が鼻高々とお客様に言い触らしていたほどでした。

職業訓練校に勤めていたころ、訓練校移転先の卸業者福田社長から時計修理を依頼され、ロレックスの研修に2か月通いました。そこで「本当に各試験に合格してきたのか？」と言われたそうです。試験と実践の違いを深く感じた池宮さんは、一番基本的な構造であるロレックス全機種について学び、実力を磨きました。

その後、時計店を営みつつ大阪時計訓練校で教えていましたが、一定の決められた内容のみを教え、前任の先生の教授してきたことを引継ぐという訓練校の授業は、自分のやりたいことと違うと感じるようになりました。そこで自身が知る時計の全てを教えた

い、もっと自分の持つ知識を後世に伝えたいとの思いから訓練校を辞め、6年前に「なにわ時計学校」を開校されたのです。

開校にあたり設備を揃えるのが大変でした。古い機材や本などは廃業された方々にいただきました。現在製造・発行していないものも多く、今となっては大変貴重になっています。教室にはこうした機械が所狭しと並んでいました。

修理を依頼された古い時計などは、部品が手に入らない事が多々あります。それらは1から部品を作ります。「子育てと一緒に、手間のかかる仕事は大変だがやり甲斐が大きく、そうした時計はとても記憶に残っています」とのこと。最近は「片付けたら出てきたから」と古い腕時計やボンボン時計の修理が増えてきたそうです。

なにわ時計学校の講師は、池宮さんと西原さんの2人。柱時計、置時計、腕時計など時計の形や種類、仕組みをまず学び、それらの修繕をしていきます。



現在生徒は20歳前後の方が2名。名古屋と徳島から来ています。卒業後、時計師として働いている方もいらっしゃいます。

「やればやるほど奥深く、興味のわく仕事。時計に興味がある方は、まず気軽に入学してください」と池宮さん。

学校は毎月ごとに入学可能で、1年、2年、3年と3つのコースがあります。30歳ぐらまでの方で3年間学ぶと時計職人としての技術が身につく、一生の仕事となります。四畳半ぐらいの場所があれば自分のお店を持つことも可能です。

就職先としては、メーカーや修理センター、もちろん個人で時計屋を立ち上げる方もいます。

「今、時計は多様化し、時間を見るだけでなく、楽しみの時計になっています。若い方はパソコンなどを活用し新しい時計屋ができると思うので、大いに期待しています」

古いものを大切にしつつ、新しいものを取り入れ未来を語る池宮さんは知識の宝庫のような方でした。これからもお元気で、後進の育成、技術の継承に力を注いでいかれることを期待しています。

（取材：黒木・小末）



めざせ！ 岸和田マイスター

【岸和田藩岡部家編】

監修：江間 一夫

岸和田市の持つ魅力をお伝えする岸和田マイスター。これまでに岸和田城、城下町、JR阪和線界隈、岸和田藩と岡部氏、市内の神社を問題形式でお届けしてきました。

このあたりで、もう一つ扉を開けましょう。

さらに奥深い岸和田を知ってみませんか。

今回も前号に続き、岸和田藩岡部家の歴代藩主について詳しくご紹介いたします。

【5】岡部長著（ながあきら）

官職：従五位下・美濃守

生没：正徳元年12月26日

～宝暦6年6月4日

1711～1756

（岸和田生・46歳没）

在職：享保9年9月25日

～宝暦6年5月10日

1724～1756（14～46歳）

正室：老中・松平乗邑（のりさと）の娘

業績：寛延元年・朝鮮通信使接待役

建立：元文3年・十輪寺（臨済宗）←【参考5】

行事：元文4年・葛城山鹿狩 ←入城百年祝賀

趣味：能・絵画



【参考5】十輪寺（野田町）

①宗旨：臨済宗妙心寺派（仏頂山）

②本尊：釈迦牟尼仏 東光寺跡地

③創建：第5代藩主・岡部長著→菩提寺

④開創：享保9（1724）年

⑤開山：蘆山（妙心寺派）

⑥俗謡：お徳石

「泉州岸和田十輪寺のまえでお徳ころした首がない」

「泉州岸和田十輪寺の鐘は一里きこえて二里ひびく」

「こわいおとし十輪寺のお墓男殺した石がある」

【6】岡部長住（ながすみ）

官職：従五位下・内膳正

生没：元文5年6月3日

～文化6年8月8日

1740～1809

（江戸生・70歳没）

在職：宝暦6年5月10日

～安永元年4月23日

1756～1772（17～33歳）

業績：明和元年・朝鮮通信使接待役

隠居：安永元年・弟長修が藩主相続



【7】岡部長修（ながなお）

官職：従五位下・美濃守→駿河守

生没：延享3年3月29日

～寛政7年11月25日

1746～1795

（岸和田生・50歳没）

在職：安永元年4月23日

～安永5年8月18日

1772～1776（27～31歳）

制定：明和9年『明和の三か条』

＝孝行・勤農・倏約

隠居：安永5年・嫡子長備が藩主相続



【8】岡部長備（ながとも）

官職：従五位下・美濃守

生没：宝暦13年3月4日

～享和3年11月20日

1763～1803

（岸和田生・41歳没）

在職：安永5年8月18日

～享和3年11月20日

1776～1803（14～41歳）

業績：天明7年・遠江国相良城受取役

相良城＝老中・田沼意次の居城←【参考6】

若年寄・田沼意知の刃傷事件→老中失脚



【参考6】相良城請取

場所：遠江・大井川・御前崎付近

所領：57000石 老中・田沼意次の居城

嫡男：若年寄・田沼意知斬殺36歳 → 所領没収

請取：1789年（天明9）岡部長備請取役 ← 幕命

＝役高25000石

陣立：先陣・中と左衛門 後陣・栗宮七郎兵衛

藩士卒1800名

臨戦態勢→金谷で各部隊合流→演習→請取

合流：甲賀より甲賀士50名

刃傷：旗本・佐野政言（まさこと）→世直し大明神

田沼意知（36歳）落命

Cultural Hot Spot In Kishiwada

岸和田の文化ホット情報

『ダンスONEプロジェクト』への挑戦 大阪府立岸和田高等学校音体部

『ダンスONEプロジェクト』は、コロナ禍で活動や発表の場を失った高校ダンス部を応援しようという、情報番組『スッキリ』と振り付け師akaneさんとのコラボ企画です。全国から53チーム3959人の高校生たちが動画投稿という形で参加しました。

岸和田高等学校（以下岸高）は自泉会館のご近所で、毎日グラウンドから元気な声が聞こえてきます。岸高からも音体部が参加したと聞き訪問しました。

音体部は2年生33名、1年生11名で活動しています。全員女子生徒です。今回応募したのは、テレビでこの企画を知った部員の提案からでした。基本に加えての振り付けや校外での撮影、編集はすべて自分たちで手がけました。作業は、時間が少なく大変だったと言います。

例年なら4月に新入生の体験入部を経て、6月の文化祭で舞台を踏みます。音体部は、取材者在学中の〇十年前から、もちろん今も文化祭の花形クラブです。それなのに今年はコロナ禍で1年生の入部は7月からとなり、文化祭も春の大会もなくなってしまったのです。

自粛期間は自宅で練習していました。「みんなでダンスしないと意味が無い。何の練習をしていいのかわからない」そんな悩みを抱えながら、自分のできることをそれぞれがしていたそうです。1年生は学校に慣れるのに一生懸命、3年生は勉強が忙しい。一番学生生活を楽しめるはずの2年生で、いくつも発表の場を奪われたのも辛いことでした。

それだけに再開したときの大きな喜びは、きっと言葉で言い尽くせない感情だったろうと思います。「自粛中みんなに会いた過ぎた。会いた過ぎて、もどった時の練習がすごく嬉しかった」大人も辛い時期でした。若い感受性豊かな彼女たちなら、なおさらでしょう。「今回の企画はコロ



〔2020年 クリスマスコンサート〕

ナ禍だからできた。みんなで一緒にできる今年だけの唯一のプロジェクト」前向きな言葉の、なん



〔2020年 クリスマスコンサート〕

と力強く頼もしいこと！「どれができて、どれができないか。ダンスは見てくれる人があってこそ。観客の存在がハードルをあげる。ステージ確保が難しく、確保しても何かあればと心配。でも踊らせてあげたい」と顧問の山崎先生。部員たちは「先生は部のことを考える時間がめっちゃ長い。なんとか開催できるよう毎日毎日考えてる。ダンス中みんなの名前を呼ぶシーンは、楽しみだけど感染対策で出来なかった。それを確認し各所に掛け合ってよりよいものにしてくれた」と言います。互いを大切に思い、信頼しあっているのですね。気持ちの良い、素晴らしい場所と時間を作っているのだなと感じました。

取材時には12月末のクリスマスコンサートに向けて練習していました。2年生はこれを最後に引退します。浪切大ホールで30曲以上のダンスを披露する大きな舞台です。昨年、先輩から部を引き継いだ思い出深い公演でもあります。「今のメンバーで踊れる最後の舞台なので、今までにない良い舞台にしたい。コロナで出来なかった悔しさを糧に、残り少ない練習を笑顔で、本番後も悔しくないよう笑顔で迎えたい」と抱負を語ってくれました。

お喋り、笑い声、ブラスバンドの練習。いろんな音が聞こえてくる教室で、2年生の部長さんと2名の副部長さん、顧問の先生にお話を伺いました。少しはにかみながら、ここに書き切れないほどいろいろな話を聞かせてくれました。きっとコンサートは大成功だったはず。この先も幸せなキラキラした時間をたくさん積み重ねていけるようにとエールを送ります。明日から期末試験1週間前、コンサートの練習也大詰めというお忙しい中、ありがとうございました。

（取材：黒木、小末）

Cultural Hot Spot In Kishiwada

岸和田の文化ホット情報

地域の方たちとのご縁を大切に
岸城神社宮司 阪井正明氏に伺いました



ん”でも有名ですね。

鳥居をくぐると、関西では珍しい備前焼の狛犬がお出迎えしてくれます。

本殿には天照大御神(元岸和田村鎮守神)、素戔鳴尊(すさのおのみこと)(牛頭天王)、品陀別命(ほんだわけのみこと)(八幡厄神)、そして七間社として住吉神社、琴平神社、春日神社、菅原神社、日吉神社、愛宕神社と巖島神社が祀られ、また敷地内には岸和田戎神社、稲荷神社が鎮座しています。

岸和田城は、本丸と二の丸を重ねた形が「ちきり」とよばれる機(はた)の縦糸を巻く器具に似ていることから千亀利城とよばれ、その鎮守神であった岸城神社は人々から親しみをこめて「千亀利のお宮」と呼ばれるようになったそうです。手水鉢は千亀利にちなんで亀の口から水が出るようになっていますが、現在はコロナ対策のためセンサーでの稼働中です。

岸城神社は、恋愛や結婚をはじめ幅広くご縁を結ぶ神様として信仰されていて、社務所では恋愛のご縁を求める方に「ちぎりの糸(紅白2本の糸)」を授けています。

新年に本殿のそばに立てられる巨大絵馬は、岸和田にある高校の生徒が持ち回りで干支を描いてくれています



が、2021年の丑年は地元画家の藪内博氏が描かれました。

広々とした境内は一般の方が利用できるよう開放し、毎月第3日曜日には「むすび市」が開催されています。ほかにも新嘗祭(いになめさい)神振行事として京都瓜生山舞

子連中さんによる「石見(いわみ)神楽」アトリエズガの「オープン秘密基地」などが定期的開催されています。また関西で



も有数の舞踊家が集う「関西バリ舞踊祭」は、全国からファンが来るほどの人気で毎年開催されていましたが、10周年を迎えた2018年を最後に惜しまれながら終了しました。

関西に大きな被害をもたらした2018年の台風21号により、岸城神社も社務所の屋根が甚大な被害を受けましたが、このたび建て替えが行われ、2020年10月27日に新しい社務所が完成しました。

こちらでは御守りやお神札だけでなく、岸和田城とだんじりが描かれた御朱印帳なども購入できます。お祭り好きにはたまりませんね。

社務所には展示会や会合などができる部屋が併設され、誰でも有料で借りることができます。11月には瀬戸内である阪井宮司のご子息の結婚式が執り行われ、披露宴会場として使われました。その時のお写真もお借りできました。厳かな様子が伺えますね。

お話を伺った日は、ちょうど「干支彫刻展示即売会」という、泉州の彫刻師が集う令和三年の干支「丑」の彫刻展が開催されていました。このように色々なイベントに使われると、地域の活性化が図られてとてもいいですね。

お部屋の利用に関しては、下記の岸城神社連絡先にお問い合わせください。

阪井宮司は岸和田文化事業協会理事でもいらっしゃいます。また岸城神社は岸和田の文化を伝承し盛り上げていくための委員会『岸和田城下町サミット実行委員会』のメンバーでもあります。岸城神社と自泉会館が協力し、城下町の活性に取り組んでいけたらと思います。

(取材：近江・小木曾)

<岸城神社>

〒596-0073 岸和田市岸城町 11-30

Tel:072-422-0686

<https://www.kishikijin.jp/>



【未来へ ここから】 音楽の持つ力を信じて

自泉アーティストバンク 伊石 昂平

僕がチェロを始めたのは4歳になってすぐのことです。分数サイズの小さなチェロを、毎日幼稚園に行く前に30分練習していました。あの頃から早22年、紆余曲折はありましたが、今もこうしてチェロを続けられているのは、家族や先生をはじめ、応援してくださる多くの方々のお陰です。



途中、勉強とチェロの両立を目指しましたが、うまく行かず、チェロから離れる時期もありました。しかし、チェロから離れて様々なことに触れたことで、視野が広がり、チェロの魅力、そして音楽の楽しさを再発見できました。

神戸大学を卒業後、チェロを本格的に勉強するために東京藝術大学の大学院に進学しました。藝大ではチェロの技術に留まらず、音楽の奥深さ、演奏家としての心構えを学びました。

昨今はコロナ禍の中、演奏家は経験したことのない苦境に立たされています。僕も大学院修了と同時に自粛生活を強いられ、途方に暮れる日々を送っていましたが、そんな中でも音楽が心の支えとなり、勇気を与えてくれました。こういう時だからこそ人々には音楽が必要なんだと感じました。

これからは多くの方々に元気と勇気を与えられる演奏家を目指したいと思います。

◆令和3年3月6日（土）マドカホールで行われる「第13回フレッシュプレミアムコンサート」にゲストとして出演を予定しています。



*岸和田文化事業協会は、自泉アーティストバンクをとおして若い芸術家を応援しています。

小太郎との日常

岡本 英子

猫を飼って5年になります。

幼い頃も2匹飼っていましたが、自由奔放な放し飼いだだったので、今のような家の中のみでの密着した環境とは全然違っていました。

「ニャーニャーニャー」何かを訴えている。大好きなアルミホイルを投げてみるが見向きもしない。それじゃないと、また「ニャーニャーニャー」と鳴く。無視して新聞を読むと後ろから背中に向かって飛びながらタッチをする。

ソフトな感じなので敵意はないが、何してほしいの？おやつ？時計の針はまだ2時20分。「おやつにはまだ早いでしょう！」手足を4本きちっとそろえたお行儀のいい座り方で私を凝視する。瞬きもせず純真透明な瞳でジューッと見つめられ「ま、いっか」とおやつを取りに行く自分を甘いなど戒めつつ、後ろにピタリ着いてくる様子に足取りは軽やか。

おやつを手に、もといた場所に戻るや否や私の直ぐ前にお行儀のいい4本揃えの座り方で小袋の開封を待つ（ぬかりないわ）。少しじらしてみると、左手でチョンチョンと私の手をつつき催促する（ハイハイ!）。会話はできないが、しっかり意思伝達してくる。

小粒ずつ手渡しで2袋を動画の早送りのように一気に食べてしまい「もう無いよ」の言葉を聞くや否やその場をすつと去り、お気に入りの場所へと階段を駆け上がって行ってしまった（ありがたいはなし?）。ここで無理やり抱っこしようとしても、スッとすり抜けられてしまう（give and takeはない）。そしてその数分後、お気に入りの場所、階段の一番上の手すりに寝そべって、こちらに來いと呼ぶように鳴く。ついつい愛猫の元に行ってしまう苦笑い。

あなたは本能のままに行動し自己中。それでも魅力的に思わせるからあなたがすごいのか？私が猫バカなのか…？原稿を書いている今現在、このまさに原稿用紙の上に座ってくれています（本当あっぱれ）。ちょっとベンが進まないのて下に降りてね。

さっきgive and takeはないといったけれど、コロナでステイホーム中、苦も無く過ごせたのはあなたの癒しのおかげです。感謝しています。



*一語一縁のページでは、会員の紹介に加え【未来へ ここから】と題し、自泉アーティストバンク登録者も紹介して行きます。

Event Report

アンケートからの抜粋

協会主催の事業にご来場いただき、有難うございました。
アンケートにご協力いただいた方の感想を紹介させていただきます。

文化祭記念コンサート「男性4人による おとコンサート」

日時:11月1日(日) 午後2時 会場:マドカホール
入場者数 149人

〈皆さんの声〉

- ◆コロナでコンサートが無くなった中、無料でハイレベルな演奏を聴かせていただき感謝しています。
- ◆男性4人によるコンサートは珍しい企画でしたが、盛りだくさんの内容で充実した時間でした。
- ◆勇気、パワー、光を頂きました。



3館合同事業 おはなし×あそび きっちゃん“の”シリーズ シリーズ1 きっちゃんの家×わたしの体からワコを作ろう

日時:11月3日(祝・火)午後2時 会場:自泉会館展示室
参加組数 親子ペア5組

〈皆さんの声〉

- ◆子どもの考える力をよく引き出してくれるワークショップだったと思います。
- ◆ワークショップの2時間、ずっと笑顔でした。

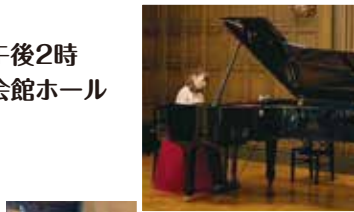


自泉会館を知る

日時:11月14日(土)午後2時
会場:岸和田市立自泉会館ホール
参加者数 23人

〈皆さんの声〉

- ◆今までは来館しても、古い建物、凝った様式かと思いつつ丁寧に聞いていませんでしたが、詳しく説明を聞き、文化財を守るのは大変だと改めて感じました。
- ◆ピアノ演奏はこの人数で聴くのはもったいないと感じました。
- ◆身近にあるのに知らずに過ごしてきた、由来を拝聴し親しみが増しました。



チェコ・ハンガリー ～中欧ヨーロッパからの響き～

日時:11月21日(土)午後2時 会場:岸和田市立自泉会館ホール
入場者数 16人

〈皆さんの声〉

- ◆コロナ禍の中、生での演奏を聴くことができとても幸せ!感謝!!
- ◆民族色を感じる情感豊かなプログラムで、しっかり楽しませていただきました。
- ◆若い方々のパフォーマンスを身近に鑑賞でき幸せな時間でした。



ベートーヴェンの軌跡 作品から読み解く“楽聖”の人生

日時:11月28日(土)午後5時 会場:岸和田市立自泉会館ホール
入場者数 28人

〈皆さんの声〉

- ◆ベートーヴェンの人生を振り返りながらの演奏、心に響きました。
- ◆丁寧な解説、素晴らしい演奏、また建物自体にも趣があり贅沢な時間を過ごせました。
- ◆解説をしていただいたことでさらに作品に入り込むことができました。



子どもによるファミリーコンサート 音楽で綴る朗読コンサート「海を見たくま」

日時:12月5日(土)午後4時 会場:岸和田市立自泉会館ホール
入場者数 24人

〈皆さんの声〉

- ◆もっとたくさんの子どもたちに観てほしかったですね。
- ◆朗読、ピアノ、クラリネットのバランスがとても良かったです。
- ◆楽しい時間をありがとうございました。こんな機会がもっとあればよいですね。



子どもによるファミリーコンサート 弦楽コンサート ♫うきうきノエル♫

日時:12月6日(日)午後6時30分
会場:岸和田市立自泉会館ホール
入場者数 28人

〈皆さんの声〉

- ◆この時期に素敵なコンサートを開いてくださった事感謝しています。
- ◆指導の先生のお力をいただき、子どもたちだけのコンサートができたのは素晴らしいことです。



第61回自泉フレッシュコンサート

日時:12月19日(土)午後6時30分
会場:岸和田市立自泉会館ホール
入場者数 23人

〈皆さんの声〉

- ◆澄んだ張りのある声、力強く美しいピアノの調べに魅了されました。
- ◆コロナ禍の対策が、逆に舞台感があってよかったです。



第4回自泉クリスマス会 聖歌隊ワークショップ ①初心者コース ②経験者コース

日時:12月20日(日)午後1時・午後3時15分
会場:岸和田市立自泉会館ホール
参加者数 ①15人 ②10人

〈皆さんの声〉

- ◆最初不安でしたが、先生のお話も楽しくハッピーになりました。
- ◆声を出すのが温まるのを感じました。
- ◆先生も優しく緊張せず参加することができました。



第4回自泉クリスマス会 作品展

日時:12月16日(水)～20日(日)
午前10時～午後5時(最終日のみ午後3時まで)
会場:岸和田市立自泉会館展示室
入場者数 134人

〈皆さんの声〉

- ◆クリスマス時期に楽しい展示をしていることを初めて知りました。
- ◆昨年のようなワークショップが無いのが残念です。



●新春コンサート2021

～自泉女声アンサンブル with 野上貴子～

日 時:令和3年1月31日(日)

午後2時開演(午後1時30分開場)

会 場:マドカホール

出演者:野上 貴子(メゾソプラノ)

森本 美希(ピアノ)

自泉女声アンサンブル

入場料:前売2,000円(当日500円増)

チケット販売場所:自泉会館事務所

マドカホール事務所

定員: 100名



●音楽と愛

～ベートーヴェン生誕250年を迎え～(共催)

日 時:令和3年2月11日(祝・木)

午後2時開演(午後1時30分開場)

会 場:岸和田市立自泉会館ホール

主催:市民若手音楽養成所

《ミュージアカデミー》

入場料:前売2,000円(当日500円増)



●第13回フレッシュプレミアムコンサート

日 時:令和3年3月6日(土)午後3時開演(午後2時30分開場)

会 場:マドカホール

入場料:前売1,000円(当日200円増)

チケット販売場所:自泉会館事務所

マドカホール事務所

定 員:100名

出演者:

令和元年度・2年度の自泉フレッシュコンサートで
優秀な成績をおさめられた方

廣中 愛(ソプラノ)

岸元 大周(ピアノ)

吉村 茉莉亜(ピアノ)

藤山 愛子(ピアノ)

上林 莉奈(ピアノ)

薄木 咲良(ピアノ)

土生 夏未(ソプラノ)

吉田 絢音(ピアノ)



令和元年度・2年度自泉ジュニアコンサートで
優秀な成績をおさめられた方

岸野 花音(ピアノ)

西田 果歩(ヴァイオリン)

中澤 蒼明(ピアノ)

中地 莉子(ピアノ)

吉田 龍司(ピアノ)



ゲスト出演:伊石 昂平氏(チェロ)

第7回フレッシュプレミアムコンサート
最優秀賞者

■お問い合わせ 岸和田文化事業協会事務局まで TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

お知らせ

会員の方は8面に文化情報を掲載することができます。掲載希望の方は事務局までお越しいただき用紙にご記入ください。多数希望の方がいらっしゃる場合や当協会主催の事業がたくさんある場合はご希望に添えないこともあります。ご了承ください。

お願い

岸和田文化事業協会では取り上げてみてはどうかと思われるコンサートや展示会がございましたら、ぜひ事務局まで案を届けてください。今後の参考にさせていただきます。

●自泉会館では、新型コロナウイルス感染症防止のため事業鑑賞人数等を縮小して行っています。ご了承ください。

●自泉会館をご利用の際は、手指の消毒、マスク等の着用、社会的距離の確保、体調の悪い方の入館はご遠慮ください。また館内は換気のため扉等を開放しています。ご了承ください。

令和3年度(2021年度)(2021年4月～2022年3月)

会員募集

年会費 個人会員(1口) 2,000円 団体会員(1口) 5,000円
(入会費不要) 家族会員(1口) 1,000円 法人会員(1口) 10,000円
(個人会員の同居家族) 特別会員(1口) 50,000円

入会方法 協会事務局(自泉会館)で直接受付致します。

郵便振込の場合は 口座番号 00970-9-28145

加入者名 岸和田文化事業協会

詳しくは、岸和田文化事業協会事務局まで

TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

nouvelle
Fontaine

vol.69

発行:岸和田文化事業協会

発行日:2021年1月25日

編集後記...

あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルスに翻弄された1年でしたが、今年は安心できる年になってほしい...と祈願します。(黒木)

◆事務局
〒596-0073
岸和田市岸城町5-10 岸和田市立自泉会館内
TEL/FAX 072-437-3801
Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

◆編集委員 近江和代・小木曾由季・黒木幸子・小末もとえ

<http://www2.sensyu.ne.jp/fontaine/>

岸和田文化事業協会

検索

